

富山県立大学では、本学教員の研究成果や外部講師による講演などを「地域連携公開セミナー」として、地域の方々に公開しています。

今回、ステファン・ルツ (Stefan Lutz) 氏<米国エモリー(Emory)大学 准教授>をお招きし、生物工学研究センターセミナーを開催いたします。皆様多数のご来聴頂きますようお願い申し上げます。

【 生物工学研究センターセミナー (参加料無料) 】

<第11回>

【日 時】 平成 25 年 9 月 30 日(月) 15 時～17 時

【場 所】 富山県立大学生物工学研究センター1階 K-115 共同講義室

【演 題】 「Engineering biocatalyst function through protein structure and dynamics (Mechanistic and dynamics studies of lipase B from *Candida antarctica*)」「New tricks with old yellow - multidimensional engineering of enoate reductases (Engineering of old yellow enzyme by circular permutation and cofactor substitutions)」

<第12回>

【日 時】 平成 25 年 10 月 1 日(火) 15 時～17 時

【場 所】 富山県立大学生物工学研究センター1階 K-115 共同講義室

【演 題】 「Directed evolution and enzyme design of orthogonal nucleoside analog kinases (Engineering of therapeutic enzymes for nucleoside analog prodrug activation by directed evolution and Rosetta design)」「SCRATCHY - chimeragenesis in protein engineering (Random chimeragenesis protocol)」

※ステファン・ルツ (Stefan Lutz) 氏の紹介

アメリカの酵素有機化学研究の若手のオピニオンリーダーおよび第一人者。有機化学を背景とし、酵素を用いる有機合成、遺伝子レベルによる変異型酵素創成とスクリーニングの方法論に新風を導入している。最近、酵素のN末とC末をリンカーでつなぎ、一本のペプチドを各所で切断し、N末、C末を順番に移動させた形の変異型酵素のライブラリーを作成するCircular Permutationにより活性が上昇した酵素を得る手法を確立している。Science (2010)に Re-engineering enzymes や、Nature (2012)には、Engineering the third wave of biocatalysis の題で、それぞれ新しい酵素のデザインや変異型酵素の創成方法、酵素的合成の新しい方法論と実用化などについての解説記事を著し、注目を集めている。

※本講演は、英語にて行われます。(通訳はございません。)

【お問合せ先】

富山県立大学 生物工学研究センター 浅野 泰久

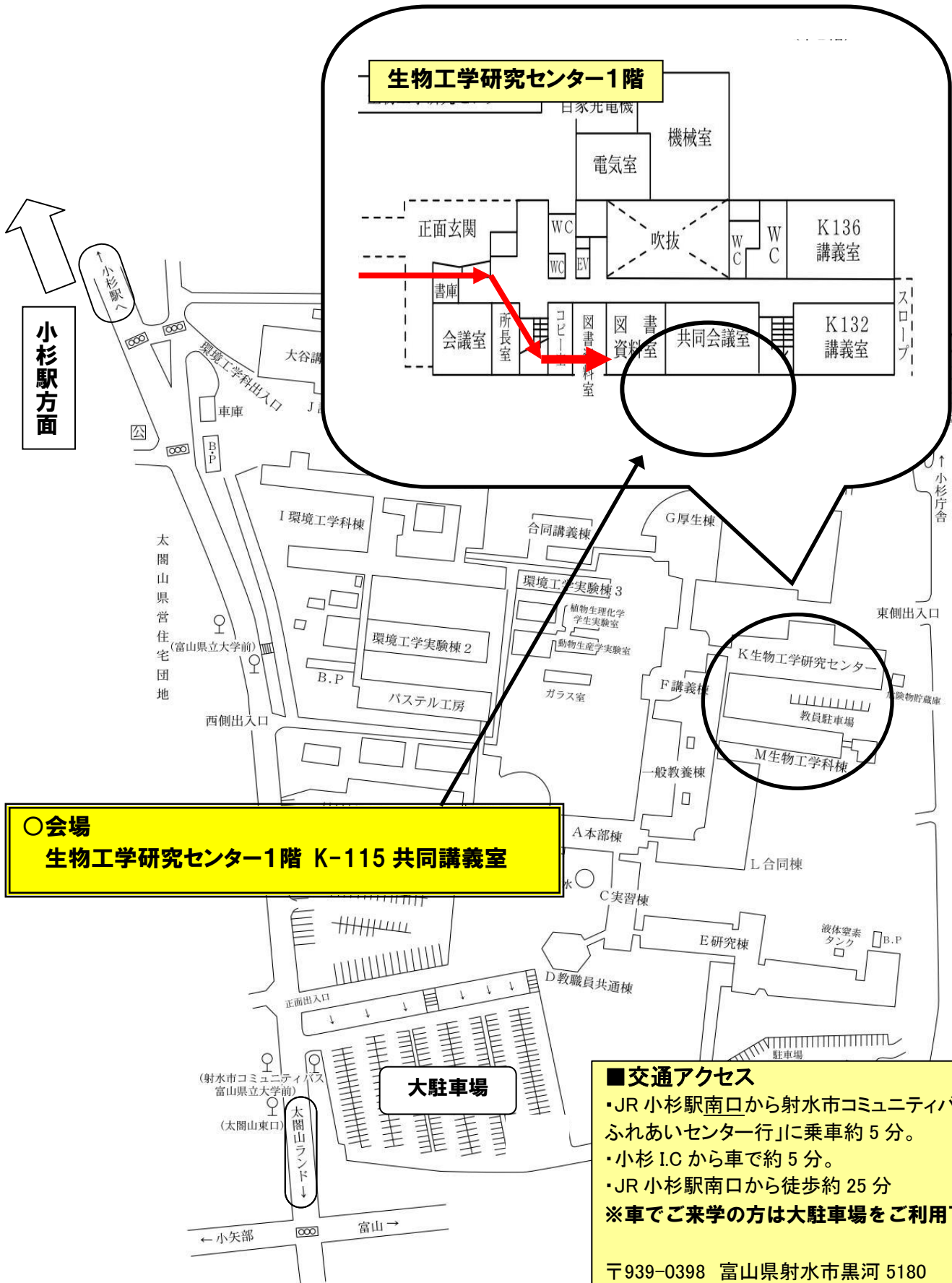
〒939-0398 富山県射水市黒河 5180

TEL : 0766-56-7500 (内線 530) FAX : 0766-56-2498

E-mail : asano@pu-toyama.ac.jp

【主催】富山県立大学(地域連携センター、生物工学研究センター)

○「会場のご案内」



生物工学研究センター1階



○会場
生物工学研究センター1階 K-115 共同講義室

■交通アクセス

- ・JR 小杉駅南口から射水市コミュニティバス「小杉ふれあいセンター行」に乗車約 5 分。
- ・小杉 I.C から車で約 5 分。
- ・JR 小杉駅南口から徒歩約 25 分

※車でご来学の方は大駐車場をご利用下さい。

〒939-0398 富山県射水市黒河 5180
 富山県立大学 TEL(0766)56-7500(代)

大駐車場